

5.彦根城(滋賀) 国宝 彦根市金亀町1

3重天守で井伊家の居城、平山城で京極氏の大津城天守を移築。1600年関が原の戦いで勝利した家康が、敗訴した西軍石田三成の近江18万石を取上げ、居城であった佐和山城を取壊して移築した。井伊直政に禄高を与え、その子井伊継が約20年の歳月をかけ1622年に完成させた。同城の天秤櫓(てんびんやぐら)は羽柴秀吉の長浜城大手門を移築したといわれます。廊下橋を中心に左右対称に櫓が並び立つ姿が、天秤に似ていることからこの名が付けられました。この櫓の形は彦根城だけといわれ、国指定の重要文化財で、山は「金亀山(こんきやま)」の異名を持つため、金亀城(こんきじょう)とも呼ばれている。キャラクターは「ひこにゃん」(白猫 井伊家の招猫で赤冑)。(同パンフ)



お濠



大手門への橋



大手門入り口



石垣



太鼓橋



左右対称に見える櫓は同じようだが違う天秤櫓



天守



玄宮園からの天守



天守内部



ライトアップされたお城